

オスプレイ 参加者 & 募金募集

11/7

佐賀空港

陸上自衛隊基地

(金) 地元住民の会と懇談

参加費

青年 (15 歳～30 歳) 500 円 (弁当代)

50 台以下 1,000 円

(30 歳～59 歳)

一般 3,500 円

あなたもご参加を

この企画は、青年と真ん中世代が参加できるように料金を低く抑えました。そのために、若者支援のため、多くの方の募金の協力をお願いします。

定員 20 名 (メ切り 10 月 25 日)

募金は、地区委員会までお願いします。



オスプレイ飛行を視察する
市議会 8 月 26 日

オスプレイは、「台湾有事」を想定し、長崎県の相浦基地所属の日本版海兵隊を輸送する侵略のための輸送機です。オスプレイが北九州上空で夜間・低空飛行訓練を計画しています。今後、飛行の中止を求める運動を展開するために、視察を計画しました。ぜひ、ご参加ください。

事前学習会のお知らせ

10 月 20 日 (月) 18 時～

地区委員会 2 階 講師 大石正信市議

タイムテーブル

7:40 (党門司小倉地区委員会) 集合・8:00 出発ー10:30 佐賀空港着～

12:00 空港展望台で現地視察ー12:00ー13:00 昼食 (弁当)

13:00～14:30 現地・地元住民の方との懇談・交流ー17:00 小倉着

参加希望の方は、オスプレイ飛行を考える会 (仮称)
日本共産党門司小倉地区委員会内



佐賀空港で離発着するオスプレイ

防衛省は、木更津駐屯地から佐賀空港に全 17 機のオスプレイ (V-22) の配備を完了し、低空飛行訓練を九州 7 県 85 か所での計画を明らかにしました。

オスプレイは、重大事故等を繰り返していますが、未だに事故の原因は明らかにされていません。

北九州市では、住宅地周辺の小倉駐屯地、曽根訓練所、富野弾薬庫上空での夜間飛行や高度 300m 以下の低空飛行訓練が計画され、隣接する空自芦屋基地・空自築城基地は佐賀空港との飛行は「慣熟訓練」ルートとされています。防衛省は「住宅地、市街地や病院等の上空の飛行は制限する」と言いながら、「最終判断はパイロットの判断に委ねられる」としており、墜落の危険性や騒音・低周波被害による市民の生命財産及び安心・安全が大きく損なわれることが懸念されます。

北九州市での飛行訓練

◆夜間・低空飛行訓練範囲

富野弾薬庫・小倉駐屯地・曽根訓練所

- ・低空は、高い建物から 300m、水上から 150m
- ・夜間訓練は、夕方 5 時～夜 10 時まで
- ・病院・学校・住宅地を飛来する可能性

◆慣熟訓練

佐賀空港～空自芦屋基地

佐賀空港～空自築城基地

093・941・6655